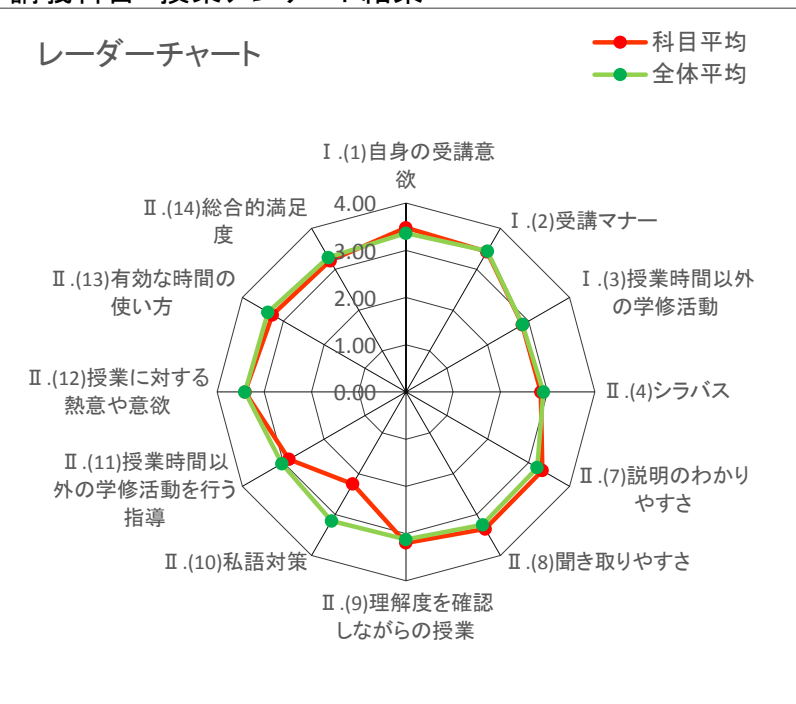
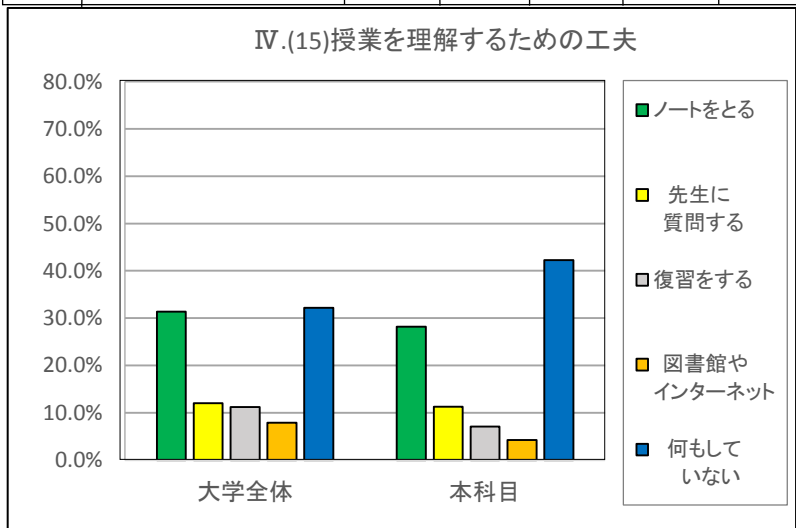


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	28.2%	11.3%	7.0%	4.2%	42.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	33102/33301
科目名	文学/日本の文学
教員名	

①授業計画の達成度について

当初の授業計画に従って、ほぼ運営できた。学生に対しては授業全体の目的を初回に説明し、各回の授業目的については、講義中に一つ大きなテーマをプリントおよび口頭で明示した。理解度を確認しながら行ったので、授業の目的についても浸透したと思われる。学習の到達目標については講義最後の振り返りで毎回確認を行ったが、一定の到達度が得られた。難易度についても、振り返りシートの感想などから学生の要望や疑問を抽出し、それに沿って修正するなど工夫に努めた。授業アンケートの結果からも適切なものだったと認識している。

②授業の進め方について

声や言葉、説明については昨年度と同講義の反省を生かし、改善に努めた。今回の授業アンケートで一定の満足度を得られたのはその結果と認識している。また説明については、不足していると認識した場合には、再度修正して説明したり、振り返り時に話すなどした。学生の授業への理解についても、毎回行う振り返りシートの学生の間違いや疑問、感想に、次の授業で対応することで確認できた。授業アンケートの結果からもそのことは窺える。しかしながら、課題が残ったのは授業環境についてである。やはり一部学生に私語の絶えない者、授業者の注意を引こうとする者がおり、対応に苦慮した。その点については公開授業参観者の公開授業参観票に書かれているとおりである。授業中に度々注意を行ない、時にはペナルティーを課すなどしたが、ペナルティーの法則性に多少ぶれがあったことが問題点であった。今後更なる改善に努めたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

昨年度と同講義の反省から、ただ講義形式で概説的に文学史を講ずることをやめ、毎回、取り上げる古典文学作品に関して大きなテーマを設定し、そのテーマのもとに講義を進めた。スマートフォンを使用した調べ物をしたり、テーマについて思考を求め自分の考えを書かせたりすることで、学生の講義に対する自主的な受講姿勢を引き出そうとした。公開授業参観票でもその点について評価をいただいた。今後の課題としては、やはり私語への対応と講義外での復習や自主学習についてである。私語対策については、ペナルティーの法則性をもっと明確化することが必要である。また、授業者の落ち着いた受講者を巻き込む努力が不足していたのではないかと思うので、研鑽に努めたい。講義外の復習の喚起については、課題を課し提出させるなどで対応したい。また、自主学習に結びつくような資料の紹介についても行ないたい。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.48	3.36
	I.(2)	3.43	3.45
	I.(3)	2.85	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.86	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.33	3.21
	II.(8)	3.35	3.25
	II.(9)	3.20	3.13
	II.(10)	2.25	3.16
	II.(11)	2.86	3.04
	II.(12)	3.41	3.41
	II.(13)	3.27	3.37
満足度	II.(14)	3.21	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.25	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.07	3.18
総合的満足度		
III.(14)	3.21	3.29